

◆ リカレント教育

《小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムの開講》

【実績】 7月25日から9月28日にかけて、延べ20日間にわたり、小規模病院等漢語ブラッシュアッププログラムを開講した。昨年度と同様の4科目26単元とし、2年間かけて履修証明書を取得できることとした。

受講生の総数は45名であり、そのうち14名が全科目受講予定者（今年度だけで全科目を受講する者が10名、今年度と次年度で受講する者が1名、昨年度と今年度が3名）であった。

全科目受講予定者のうち2名が欠席した科目があったため、全科目を受講した者は（昨年度と今年度での者を含め）は、11名となった。

【成果】 受講生の総数は昨年度より増加し、又、全科目を履修し履修証明書の交付を受けた者も増加した。各講義終了後に回収した Minute Paper から講義への参加度、理解度、満足度を見てみると、大学での受講者においては、「参加・理解・満足できた」、「どちらかと言えばできた」でいずれも100%であり、ICTで受講者では、それが参加度では99%、理解度では98.1%、満足度では99%となっており、ICT受講者における参加度、理解度、満足度ともに大学での受講者ほぼ同様な結果となった。

【実施上のポイント】

- ・ 前年度末にチラシを送付して、次年度の「小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム」の開講予告をしておく。
- ・ 募集要項は郵送、ホームページからのダウンロード等複数の手段で入手できるようにする。
- ・ ICT活用の受講を希望する病院や施設には、事前に赴き、大学と病院をつないでICT活用のデモンストラーションを実施する。又、受講する単元開講日が近づいたら、その数日前に接続の確認をし、受講生が安心して参加できる環境を作る。
- ・ 資料を見やすくするための画面共有機能や質問するためのチャット機能などの機能が使えるように事前に操作等の説明を行っておく。

《フォローアップ研修の実施》

【実績】 平成 28 年度に小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムにおいて全科目履修した者 7 名を対象とした「フォローアップ研修会」を 6 月から 12 月にわたり実施した。受講者は 5 名であった。

内容は指導力スキルアップ研修、看護研究ステップアップ研修、地域医療連携ステップアップ研修の 3 構成とした。指導力スキルアップ研修では、研修生が卒後 3 ヶ月の職員を対象とした「卒後 3 ヶ月フォローアップ研修会」を企画し、2 つの病院の新採看護師を対象に合同で開催した。看護研究ステップアップ研修では、各自看護研究計画書を作成し、調査を実施し、最終日には各自結果を発表することができた。地域医療連携ステップアップ研修では、学部学生の「相互理解連携論」の授業を受講し、ファシリテーション、コーチング、コミュニケーションスキル等の演習に参加し

【成果】 指導力スキルアップ研修では、研修生が実際に研修会の企画から運営まで行うことが出来、研修生の病院の看護管理者からも高い評価を得た。又、研修生からも今後活かせる研修であったとの反応があった。

看護研究ステップアップ研修では、ブラッシュアッププログラムでの看護研究を継続して進め、調査の実施、発表まで行うことができた。研修生からは「苦手意識が軽減された」、「職場での実践や指導に繋げることが出来そうだ」との声が聞こえた。

地域医療連携ステップアップ研修では、演習に積極的に参加し、プレイバックシアターという新しい演習に取り組み、「コーチングやファシリテーション、コミュニケーションスキルなどの振り返りができた」、「自分自身の行動に取り入れて行きたい」等の声が聞かれ、現場に活かせる内容となった。

【実施上のポイント】

- ・ 「小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム」の研修で得た知識を複合的に活用し、実践につなげることが出来るような研修の構成にする。
- ・ 研修生同士が主体的に取り組めるよう、又、実際に現場で活用できるような内容で組み立てる。
- ・ 短期間で集中的に開催するのではなく間隔をあけて開催する。このことで、特に看護研究についてはじっくり理解を深めつつ取り組むことができる。

《小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム受講生を対象とした調査》

【実績】 今年度の小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムの受講者に対し、プログラム終了直後に満足度、3ヵ月後に組織貢献度調査を実施した。又、受講者の上司による他者評価も行った。

平成27年度、28年度の履修修了生（全科目を履修し履修証明書の交付を受けた者）に対し、ブラッシュアッププログラムの受講により、受講後の看護実践に関して、どのような認識の変化が生じたかを明らかにするためグループインタビューを行った。

【成果】 受講者に対する直後の調査、3ヵ月後の調査は今年度の調査で3年間のデータの蓄積となった。それによれば、受講生の満足度は経年的に高くなっており、今年度においては100%の受講者から満足との回答を得ている。上司からの他者評価では、ブラッシュアッププログラムを受講したことが自信につながり、実際に職場でも新人やスタッフに対して、ブラッシュアッププログラムでの学びを伝えようとする姿勢が見られる等、との評価が得られた。

グループインタビューについては、現在データの分析中であるが、今まで漫然として行っていた日々の勤務における看護実践が、ブラッシュアッププログラムを受講したことによりモチベーションが上がり、看護実践に対し熱意を持って取り組むようになったり、同僚や後輩に対しても積極的に関わることができるようになってきた、先を見据えて看護実践を行うように考えが変わった、等の声が聞かれた。

【実施上のポイント】

- ・ 調査実施の意図が伝わりやすいように、事前に調査の目的や時期を説明しておくこと。
- ・ グループインタビューについては、集合しやすく調査協力の負担が少なくなるように、他のイベントの開催日程と合わせて実施した。